

おおた 区議会 だより

令和5年
第3回
定例会号

No.258

令和5年
11月12日発行

OTA CITY ASSEMBLY
NEWS



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

大田区議会は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

令和4年度決算を認定

大田区議会は、令和5年第3回定例会を9月14日から10月12日までの29日間の会期で開きました。

定例会では、区政の各分野における課題について、20名の議員が質問し議論しました（詳細は、2～5面に掲載）。

また、固定資産税及び都市計画税の減免措置等の継続を求める意見書を全会一致で可決しました（抜粋を8面に掲載）。

- 区長提出議案として、令和4年度一般会計歳入歳出決算や令和5年度大田区一般会計補正予算（第3次）、条例の一部改正案、報告など40件が提出されました（令和4年度決算に対する各会派の意見は6面に、審議の結果など詳細は、7～8面に掲載）。
- 議員提出議案として、条例案1件が、委員会提出議案として、意見書が1件提出されました（詳細は、7～8面に掲載）。
- 請願・陳情は、審議の結果、採択3件、不採択13件、そのほかは継続審査となりました（請願・陳情の結果は、8面に掲載）。

発行／大田区議会

〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電話 03-5744-1474 (直通)

<https://www.city.ota.tokyo.jp/gikai/>



大田区議会 検索



今号のイラストは食欲の秋として、区内の学校給食をイメージしています。左手前の児童が食べているものは、たこ焼きのレシピをアレンジした「たこべったん」、右手前の児童が食べているものは大田区発祥の「揚げパン」です。どちらも子どもたちに人気のメニューです。

令和5年度 一般会計補正予算（第3次）を可決

令和5年度一般会計第3次補正予算は、以下の視点を踏まえて計上されました。

- 子育て環境の拡充や安全・安心の備え、SDGs推進・デジタル技術活用の加速化に資する予算
 - 第2次補正予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応するための予算
 - 令和4年度決算確定に伴う精算等を行うための予算
- 今回の補正予算は、工事工期延伸などの事業精査に伴い、11億3,917万1千円の減額となりました。

一般会計補正予算（第3次）の主な事業

| | |
|--|---|
| 総務費 調査研究・企画機能の充実 …… 3,102万7千円 SDGs推進事業 | 土木費 交通安全推進事業 …… 1,441万6千円 自転車乗車用ヘルメット購入費助成事業 |
| 福祉費 多様な他者との関わりの機会の 創出事業運営費 …… 4,840万8千円 保育所等における多様な他者との関わりの 機会の創出事業 | 環境清掃費 行政回収の推進 …… 952万6千円 DXを活用した資源プラスチック回収に係 る車両運行の効率化の強化 |
| 衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種 …………… 9億331万3千円 令和5年秋開始接種に係る経費 | 教育費 私立幼稚園等振興事業 …… 4,451万円 私立幼稚園における多様な他者との関わり の機会の創出事業 |



本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。

録画中継

代表質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。



自由民主党大田区議員・無所属の会 松原 秀典

大田区の新たな未来に向けて



基本構想について

問 区民が安心して、将来に希望を持つために、どのような大田区基本構想を策定していくのか。

答 大田区基本構想審議会を設置し、区民参画手法を通じて、幅広い世代から意見を伺った。「区の将来を担う子どもが希望を持てるまち」「産業と環境が調和した持続可能なまち」などの視点を意識し、新基本構想の柱を検討していく。

令和6年度予算の展望と財政政策について

問 これまでのコロナ禍から新しい未来をどのように切り開き、6年度予算を編成していくのか。

答 6年度の予算編成は「新しいおたの時代への架け橋となる予算」SDGs未来都市としての挑戦」とした。また、四つの柱からなる財政運営の基本方針を作成した。新時代に向けた区政の扉を切り開き、区民の負託に応えていく。

問 平成12年都区制度改革で確立された法の原則と都区の合意事項に沿った解決が図られるよう、どのように都へ主張していくのか。

答 特別区の区域における児童相談所の設置は、役割分担の大幅な変更には該当するため、都区間の配分割合の変更は当然であるとの立場を明示してきた。改めて設置・運営に必要な財源が適正に担保されるよう、現行の配分割合55・1%からの変更を都に強く求める。

SDGs未来都市について

経済産業政策について

問 SDGs未来都市の達成のため、具体的にどう取り組んでいくのか。

物価高騰対策について

問 物価高騰対策など、円滑な工事の発注に向けた区の考え方を伺う。

答 適正な予定価格を設定し、安心して工事を受注できるように努めてきた。インフレスライド条項の迅速な適用に努めている。適切な工期の設定を更に検討し、働き方改革に寄与していく。

問 羽田イノベーションシティでの区内ものづくり企業への波及の取り組み状況と今後の方向性を伺う。

答 11月のブランドオープンにより、様々な産業分野から新たなプレイヤーが一層集まる。大田区産業振興協会が区内企業との橋渡し役となり、取り引き拡大や多様な主体との交流機会を創出する。

まちづくり政策について

問 新空港線整備の進捗と沿線のまちづくりの進め方について伺う。

答 羽田エアポートライン株式会社や都市鉄道等利便増進法に基づく事業としての採択を受けるべく、事業計画などの詳細について国と協議している。大田区鉄道沿線まちづくり構想に基づき、蒲田をはじめ区内の鉄道整備と併せた沿線まちづくりを進めていく。

問 大森駅西口周辺の都市計画事業



日本共産党大田区議員

すがや 郁恵

物価高騰から 区民の命・営業を守る区政へ



平和首長会議参加の区長の役割

問 8月5日に対談した広島市長は、核抑止論が核兵器廃絶への道を困難にしていると述べている。広島市長と同じ立場で、核兵器廃絶のために行動することを求める。

物価高騰から 区民の命・営業を守る区政へ

答 5年度末に予定している認可の取得後、6年度には用地補償に関する説明会を都区合同で実施する。地元の見解を聴きながら、商店街の更なる発展につながるよう、取り組んでいく。

感染症対策について

問 これまでの新型コロナウイルス感染症への対応を踏まえ、様々な感染症に対する危機管理対応をどのように進めていくのか。

答 感染症予防計画の策定に当たり、この約3年間の振り返りを行う。各対応の有効性を分析精査し、次の感染拡大への備えを進めていく。

防災対策について

問 今後起こりうる激甚災害に備えて、区民の命を守るためにどのような取り組みを考えているか。

答 6月27日に、区の現地対策本部と東京消防庁消防救助機動部隊、陸上自衛隊が災害現場で連携する救助訓練を実施した。あらゆる事象への対処力を強化し、検証結果を地域防災計画に反映していく。

教育政策について

問 教員のなり手不足が続いている。区が独自に予算を組み、代替教員をプールし、学校に派遣する仕組みも構築すべきと考えるが、教育委員会の見解を伺う。

答 一度退職したが、改めて働く意思を持つ人材の発掘に努めている。教育管理職経験者を教育相談専門員などに任用している。欠員代替要員の確保も含め、区独自の人材確保策を検討していく。

2022年度決算について

問 2022年度の区独自施策は利子補給にとどまったが、区民が望む直接支援が実現できなかった。決算では、財政基金40億円の取り崩しがなければ赤字となった。

問 受益者負担の考えを改め、公共施設利用料の値上げをやめるべき。施設使用料算定の基本的な考え方は原則4年ごとに見直しを行う。問 国保料滞滞金の収入滞額が5424万円である。滞納者を追い込

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 子育て支援について 問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 基本構想には、憲法と地方自治法に基づく基本的な人権と行政責任をしっかりと明記するべき。

問 データブックには、保護者の所得にかかわらず高校生以下の医療費や小・中学校の給食費は無償とあるが、2024年度以降の方針が明らかではないものがある。学校給食費の無償化や家賃助成制度など子育て支援策の強化を求める。

問 9期介護保険事業について 問 国に介護給付費の削減をやめさせ、区独自に介護給付費準備基金を活用して介護保険料を引き下げ、全世代が安心できる公的介護制度にすることを求める。

問 2024年度予算は、区民の願いに応え、区民サービスを充実させることを求める。 答 2024年度の財政見通しは、収入不足の見込みである。将来を見据えた予算編成を行う。 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 基本構想には、憲法と地方自治法に基づく基本的な人権と行政責任をしっかりと明記するべき。

問 データブックには、保護者の所得にかかわらず高校生以下の医療費や小・中学校の給食費は無償とあるが、2024年度以降の方針が明らかではないものがある。学校給食費の無償化や家賃助成制度など子育て支援策の強化を求める。

問 9期介護保険事業について 問 国に介護給付費の削減をやめさせ、区独自に介護給付費準備基金を活用して介護保険料を引き下げ、全世代が安心できる公的介護制度にすることを求める。

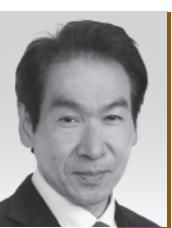
問 2024年度予算は、区民の願いに応え、区民サービスを充実させることを求める。 答 2024年度の財政見通しは、収入不足の見込みである。将来を見据えた予算編成を行う。 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について

問 区民が主人公の基本構想について 問 区民が主人公の基本構想について



日本維新の会大田区議員

本多 たかまさ

子育て世代への徹底投資！ 好循環型の未来ある大田区へ！



子育て支援について

問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

問 少子高齢化が進む中、子育て世代への徹底投資を行い、子育てを社会全体で支えていくことが重要であり、包括的な子育て支援策が必要であるが、区の見解を伺う。

防災について

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。

問 防災情報においてメディアリテラシーが求められる時代だが、情報化社会ならではの課題がある。適切な情報発信のために重視する点について見解を伺う。



大田区議会公明党

小峰 よしえ

地域力を結集し、共生社会の実現を！



令和4年度決算について

問 物価高騰対策における対応方針について、区の見解を伺う。

答 区民生活の実情をつぶさに捉え、必要となる施策は機を逸することなく、積極的に展開していくことを基本的な施政方針に据え、区政のかじ取りを行っていく。

庁内DXについて

問 まずは窓口改革を進め、申請書なども「書かない窓口」、更には「行かない窓口」を目指すべきと考えますが、いかがか。

答 インターネット上に、窓口の混雑情報を表示するシステムを導入するための予算を計上した。チャットGPTなどの活用についても、区民相談への迅速な対応や更なる業務効率化などに向けた検討を進める。

防災船着場について

問 船着場の活用について伺う。

答 被災直後は、傷病者や医療従事者、医療物資を災害拠点病院などに、応急対策期は国や都からの緊急輸送物資を区内輸送拠点に、復旧期は島部に孤立した人員を帰宅困難者一時滞在施設に輸送することを目的に、各施設近辺の防災船着場を活用する。総合防災訓練への取り込みも検討する。

東京都パートナーシップ宣誓制度について

問 都は利用可能なサービスを広げるため各自治体などと連携し、他自治体では区営住宅などの支援が広がっている。区長の見解を伺う。

答 都制度の区事業への活用については、関係機関と歩調を合わせて、慎重に検討していく。

SDGsの取り組みについて

問 SDGs 未来都市に選定されたが、どのように区民一人ひとりの

意識改革や行動変容を進め、取り組みを定着させていくのか、区長の見解を伺う。

答 区民と一緒に取組を進めていくことが重要だと認識している。区ならではのSDGsを強力に推進し、より効果的に区民に行動変容を促していくため、体験型の企画を実施するなど、共感が得られる仕掛けを検討していく。

羽田イノベーションシティの取り組みについて

問 羽田イノベーションシティでの革新的な研究開発が、空港以外での具現化につながるよう、いかに取り組んでいくのか、見解を伺う。

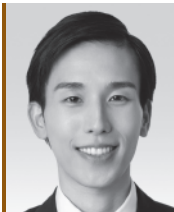
答 区民生活の利便性向上や社会課題の解決につながる革新的な研究開発が、質・量の両面から充実するよう羽田イノベーションシティへの更なる誘致や、実証実験を羽田空港以外での展開につなげる仕組みの具体化に向け、精力的に取り組んでいる。

認知症基本法と地域共生社会について

問 認知症になった本人支援と家族支援を、地域共生社会の実現を踏まえてどのように行っていくのか、区長の見解を伺う。

答 23区でも先進的な取り組みとなる若年性認知症への対応経験は、大きな財産である。今後、元氣な高齢者が認知症になった場合に対する施策展開につなげていく。これまで区独自で実施してきた認知症に対する多くの事業のノウハウをいかし、本人や家族への支援や周囲への啓発をより一層進め、地域共生社会の実現に向け、見守り

添っていくよう努めていく。



つばさ大田区議員

伊藤 つばさ

日本人の誇りや伝統を大切に！大田区政に！



LGBT理解増進法により、女性

性が安心して暮らす権利が脅かされるのではないかと不安の声が上がっている。区の見解を伺う。

答 国会での議論及び厚生労働省の通知において、公衆浴場などの男女の取り扱い、身体的な特徴をもって判断する旨が示されている。男性と女性の専用スペースのある施設の利用基準が基本的に変わるものではない。

外国人が増えることによる治安

が悪化しているケースが国内外で散見されるが、区において外国人定住者が増えることのリスクをどのように考えているか。

答 安心して暮らしていくためには、外国人区民も、文化や習慣の違いを十分に理解し、日常生活の様々なルールやマナーを守っていくことが重要である。ともに笑顔にな

れる多文化共生社会の実現に向け、世界情勢も視野に入れつつ取り組んでいく。

問 蒲田の再開発に当たって、どのようにまちの機能更新を図り、魅力あふれるまちに変貌させるのか。

答 新空港線整備と連動した駅前広場、東西自由通路などの都市基盤施設の整備や、駅舎や駅ビルの機能更新などを一体的に進めていくことが必要である。個性ある蒲田特有の食文化や下町らしさをいかに連続性のあるまち並みの形成に取り組んでいく。

問 区立学校の不登校児が増加傾向にあるが、根本原因とその解決方法について伺う。

答 無気力、不安、学業不振が不登校の原因の上位に上がっている。その背景には学力の課題や親子関係の葛藤など様々な要因が考えら

教育について

問 学校の課題解決のために、地域の力をいかしながらSTEAM教育を充実させることが重要だと思うが、教育長の見解を伺う。

答 地域の力をいかすことが、おわたの未来づくりの教育効果を高める最大の鍵であると考えている。関係企業・団体のみならず、広く区民に協力を募り、地域の力を最大限にいかすことで、STEAM教育の充実を図っていく。

子どもの個性を伸ばす

ように子どもたちの個性を伸ばし、尊厳につなげ、地域共生社会づくりにつなげていくのか、教育長の見解を伺う。

答 誰もが相互に人格と個性を尊重し、支え合い、人々の多様な在り方を認め合う共生社会の実現を目指す教育を推進していく。



立憲民主党大田区議員

にぎわいと学びの充実した大田区を期待して



小川 あづや

空港臨海地域の今後について

問 空港周辺の今後を区長に伺う。

答 跡地の都市計画公園は、公民連携で整備を予定し、様々な事業展開により地域の魅力を更に高める。

大田区周辺の観光推進について

問 区の観光資源を活用して、観光をどう発展させるのか。

答 馬込文士村や勝海舟記念館などへのアクセスに関する情報発信や、シェアサイクルの利用など、区内回遊の創出に努めていく。

新空港線の周知について

問 新空港線の今後の具体的な周知について、考えを伺う。

答 説明会やパブリックコメントで



東京政策フォーラム 都民ファースト

おぎの

稔

引っ越しをしても住みたい大田区へ



区のソフトパワー発信について

問 シティプロモーションの観点から取り組んでいくべきではないか。

答 住む人、訪れる人などに区の魅力を効果的に発信し、選ばれる大田区となるよう取り組んでいく。

特区制度の活用について

問 観光施策の中で活用すべき。

答 特区民泊や区内の宿泊施設などとの連携をはじめ、来訪者との接点となる発信拠点を最大限活用して、観光施策を充実させていく。

令和島周辺の都市計画について

問 臨海部の活用について伺う。

答 多様な人々が交流・挑戦する「未来型創造都市」の創出に向けて、区内の全児童・生徒がそれぞれのニーズに合った学びの場で、社会との関係を築くことができるように努めていく。

意見の踏まえて取りまとめ、適切な情報提供をする。

自習場所の提供について

問 夏休みの池上会館の自習開放が好評だったが、今後について伺う。

答 引き続き、中高生ひろばなどでの学習の場を提供できるよう取り組んでいく。

教員の勤務支援について

問 教員の負担軽減の現状と成果を伺う。

答 副校長アシスタント、教員支援員を全校に配置した。今後も働きやすい環境づくりを進めていく。

用語解説

*SDGs未来都市 (2面1段・19行目)

SDGsの理念に沿った取り組みを推進しようとする都市の中から、特にポテンシャルが高い都市を公募・選定する内閣府の制度のこと。大田区は2023年度の「SDGs未来都市」と、その中でも特に優れた先導的な取り組みを行う「自治体SDGsモデル事業」にダブル選定された。

*中高生ひろば (3面5段・26行目)

中高生世代の健全育成を目的に交流・活動・相談支援を行う中高生世代専用の施設のこと。羽田地域力推進センター3階に中高生ひろば羽田、新蒲田一丁目複合施設(カムカム新蒲田)4階に中高生ひろば蒲田を設置しており、談話室や講座室、音楽スタジオなどを完備している。

て、ポテンシャルの高い空港臨海部のまちづくりに取り組んでいく。

地域団体への参加について

問 次世代を担う若手の育成や地域団体の行事や活動についての広報、協力について見解を伺う。

答 消防団や市民消防隊などの目に留まる広報を行うとともに、区が主催する行事に隊員以外の方も参加できる機会を設けるなど、理解と関心を高める取り組みを行い、地域の方とともに、災害に強いまちをつくるべく。

SDGs未来都市について

問 企業、起業家や技術者に訪れてもらう必要があるが、いかがか。

答 イノベーションの創出や、ビジネスを通じた社会課題の解決に向けた事業者のチャレンジを着実に積み重ね、多様なプレイヤーから選ばれる大田区を目指していく。



本会議などの様子を録画したテレビ中継映像をインターネットで配信しています。

録画中継

一般質問

質問と答弁は、質問者がまとめた要旨を掲載しています。詳しくは、区議会ホームページの会議録をご覧ください。

大田区議会公明党



橋 しんいち



スクールソーシャルワーカー(以下SSW)の拡充について

問 学校だけでは子どもたちの問題の解決に限界がある。SSWは悩んでいる子どもたちの「環境の整備者」と呼ばれ、子どもや保護者の家庭環境を福祉制度とつなぎ、安心して学べる環境を整えることが目的である。現況や福祉的支援を通じた成功事例などを伺う。

答 教育センターに8名を配置し、学校の派遣申請に基づき活動している。事例としては、SSWが家庭訪問を繰り返し、生徒の引きこもりを改善できた。子ども家庭支援センターなどと連携し、家庭を見守るネットワークを構築した。進学・受験でも保護者をサポートし、希望する高校に進学できた。

問 将来的に中学校全28校に対し、SSWを1校に1人常駐配置を行い、更にSSWのスキルアップやバックアップ体制を整えてもらいたい。区の見解を伺う。

答 SSWの派遣依頼や相談件数は増え続けている。今後はSSWの活動に対する潜在的なニーズも視野に、一層、効果的な活用を進めるため、専門性を高める研修の実施や、学校への配置を含め、充実した体制づくりを検討していく。

問 病児保育の自宅看護という角度からベビシッター利用支援事業について、区の見解を伺う。

答 一時預かり利用支援には、二一

ズの把握や安定的なサービス体制の確保などの課題がある。今後、多角的な視点から分析していく。

大田区議会公明党



田村 英樹



生活福祉事業について

問 生活保護受給世帯における住宅扶助費の代理納付について、今後の取り組みを伺う。

答 福祉事務所の判断で代理納付できるよう、令和5年6月に要領を改正した。引き続き、生活保護受給世帯が安定した生活を送れるよう、適切に支援していく。

聴覚障がい者支援について

問 障害福祉課の窓口を設置されているタブレット端末について複数台設置することを提案する。区の見解を伺う。

答 手話通訳者の配置がない日は、タブレットにて来庁者と障がい者総合サポートセンターに常駐する手話通訳者をつなぎ、コミュニケーションを提供している。窓口での利用を進めるため、関係各課と調整し、拡充を図っていく。

大田区手話講習会の受講者を対象に、定期的にワークショップを開催するなど行動的な体系を整えることについて、区の見解を伺う。

答 手話で情報やお互いの意思を伝え合うことが、ごく自然に行われることが大切である。講習会の参加者が知識やスキルをいかし、継続的に活動を続けるための方策を検討していく。

アスベスト対策について

問 アスベスト除去などの助成率を

引き上げ、住宅リフォーム助成事業の充実を要望する。見解を伺う。

答 3年4月に大気汚染防止法が改正され、アスベストの規制が強化されたことから、事業におけるアスベスト除去に関する助成の在り方について、検討を重ねている。

つばさ大田区議員



松原 元



住民の地域回遊促進について

問 商店街プレミアム付地域商品券について、他自治体との連携を含めた一商店街単位にとらわれない事業の枠組みを考える必要があるのではないか。区の考えを伺う。

答 他自治体エリアを対象とした連携事業の実施は十分に可能であると認識しているが、商品券事業には慎重にならざるを得ない。

問 大田区の財産である遺跡の活用について区の考えを伺う。

答 区内回遊を促すメインコンテンツの一つとなりうる遺跡などの活用も含め、回遊のメニュー充実や情報発信の強化を図っていく。

問 バス停にベンチを設置する必要性を感じるが、区の見解を伺う。

答 各種情報をバス事業者と共有し、一つでも多く、バス停留場の環境改善が実現できるように努めている。

東政策フォーラム(都民ファースト)国民民主党無所属の会



小山 れいこ



ひとり親世帯の経済的支援について

問 経済的支援の所得要件の見直しは行われるのか。

答 変更する予定はない。

ひとり親世帯の支援の在り方について

問 総合的な支援窓口の強化につき、区の取り組みと今後の展望を伺う。

答 部局間の連携を一層密にしながら支援環境の整備を図っていく。

問 児童館における遊びを通じた支援と今後の展望について伺う。

答 今後子どもたちの声を尊重しながら、健やかな成長を支えていく。

自由民主党大田区議員・無所属の会



馬橋 やすとき



環境に対する取り組みについて

問 SDGs未来都市、SDGsモデル事業のダブル選定都市として環境公社や本庁舎をはじめとした既存の公共建物のZEB化に、他区に先駆けて取り組むべきと考えられるか。

答 大田区公共施設等総合管理計画において、今後、公共施設を新築する際には、ZEB化の基準を目指すことを位置付けている。既存施設については、屋根や外壁など外皮断熱の強化や空調設備の高効率設備機器の導入など、多岐にわたり改修する必要があることから、大規模な改修工事を行う際など、適切なタイミングで実施することとしている。

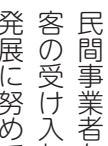
産業支援と観光施策について

問 観光とは単にレジャーのみを指すものではなく、様々な形態があり、視察や技術連携など、多くのテクニカルビジットが見込める。こうした需要に際して、大田区産業振興協会などと連携した受け入れ体制のワンストップサービスが理想的と考えるが、いかがか。

答 先進技術や優れた企業・工場などの視察、企業間交流などを目的とするテクニカルビジットは、大田区が目的地となる貴重な機会である。特に、ものづくりの分野では、区の技術力に関心のある国内外の企業やビジネスマンからも一定のニーズがあるものと認識しており、区内企業の取り引き拡大や

イノベーションの創出に加え、インバウンド需要などによる経済効果が期待できる。このような取り組みを推進していくためには、多様な主体と連携した受け入れ体制の構築が必要不可欠であると考えている。大田区産業振興協会や大田観光協会における来訪者の受け入れ体制の強化を図るとともに、民間事業者なども連携し、海外客の受け入れを通じた区内産業の発展に努めていく。

自由民主党大田区議員・無所属の会



えびさわ 圭 介



郷土愛、生きる力を育む教育

問 郷土愛を育むツールとして、大田区データブック子ども版を利用することはできないか。

答 区の特徴が分かりやすく掲載されているため、地域に対する誇りと愛情、区民の一員としての自覚を養うためにも活用できると考えている。子どもたちの区に対する理解を深め、郷土愛を育んでいく。

道徳授業の現状と、親子で学ぶ取り組みについて伺う。

答 週1時間の道徳授業の中で、道徳的価値について意見交流し、多様な考えの考えを深めている。親子で学ぶ機会は、道徳授業地区公開講座で保護者や地域の方と一緒に考える機会を設けている。日頃の挨拶、人を思いやる気持ちなど、引き続き親子で考える機会を設け、家庭と一緒に子どもたちの豊かな道徳性を育てていく。

問 課題抽出のために会議体をつくることについて伺う。

答 国や都の方針を踏まえ、教員の働き方を検討するため、教員、生徒や保護者への意向調査を実施している。関係者による会議体を設置して最善の方法を協議し、総合型地域スポーツクラブの活用や企

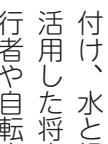
業委託、指導員活用、地域移行モデル事業により部活動の在り方を検討し、円滑な地域移行を進める。

多摩川駅周辺のまちづくり

問 様々な施設整備が進む多摩川駅周辺のまちづくりについて伺う。

答 現在検討中の大田区鉄道沿線まちづくり構想案では、多摩川駅を新空港線軸の主要な駅として位置付け、水と緑のネットワークを活用した将来像を掲げている。歩行者や自転車の安全性・利便性に配慮し、地域固有の歴史及び歴史上の価値が高い建造物とが一体となった市街地形成を目指し、まちづくりビジョンや方針の策定など、区民とともに検討を進めていく。

自由民主党大田区議員・無所属の会



天坂 大介



自衛隊・消防・警察などの連携による新たな大規模災害訓練及び防災専任人材確保について

問 区の災害対策本部を中心として関係機関と連携した、複数被害箇所対応の新たな大規模訓練を提案するが、方針を伺う。

答 大規模災害時に有機的な連携を可能とするため、災害対策を総合調整する当該訓練の実現に努める。

問 区民保護のミサイル対応実動訓練を定期的・継続的に行い、核・生物・化学兵器への対応要領の確立が必須であるが、見解を伺う。

答 令和6年に図上訓練を行い、武力攻撃事態等対処マニュアルの作成を目指す。

問 防災専任人材の増員及び職員の資質向上の取り組みについて伺う。

答 危機管理室では退職幹部自衛官、消防警察の出向職員が高度な訓練を計画・実施している。準備段階から防災危機管理課全職員が携わり、資質向上を図っている。

問 赤松小学校及び仮称北千束二丁目複合施設しゅん工に伴う防災機能

の確保について、区の見解を伺う。



会議録検索システム

区議会の会議録を検索・閲覧できるシステムを区議会ホームページに掲載しています。

強化と多世代交流促進について

問 移転後の千束特別出張所を起点とする防災機能強化について伺う。
答 迅速な情報伝達、防災体制構築に資する。平常時には子どもたちへの防災教育の充実を図る。

問 複合施設に特別出張所、小学校、放課後ひろば、包括支援センター、シニアステーションが入る予定である。多世代交流を必ず取り入れたいと考えるが、いかがか。
答 特別出張所が地域団体や地域情報を学校に紹介し、高齢者から地域について学ぶなど、子どもたちの郷土愛醸成効果が期待できる。

問 発達障がい児の早期発見を目的とする、5歳児健診の導入について
問 導入必須と考えるが見解を伺う。
答 3歳児健診では発達障がいの発見が困難な場合があるが、5歳児健診を実施するには専門医が少ない。療育体制の拡充も課題である。



杉山 かずのり

コミュニティスクール（学校運営協議会制度）について

問 コミュニティスクールを導入していくためには、地域の方の理解が必要だと思うが、自治会・町会などへの周知活動、情報提供は予定しているか。
答 令和5年6月の大田区自治会連合会のあり方検討会において、久が原特別出張所が自治会と久原小学校のつなぎ役となった事例を共有した。今後、自治会連合会主催の研修会において、コミュニティスクールに知見のある学識経験者の講演を行い、その情報を各地区の自治会・町会に周知していく。このような取り組みを通じて、子どもたちの成長を支えるための学校づくりに地域も一体となって取り組めるよう、機運を醸成していく。

立憲民主党大田区議団



平野 春望

問 マイナンバーの総点検に関して、デジタル庁が個別データの点検対象機関を公表し、その中で大田区の生活保護情報に係る事務が対象となったことについて伺う。
答 生活保護を申請する際、不備があった場合の対応に関するマニュアルの整備が十分でなかったことから対象となった。区民に直接影響がないことを確認し、マニュアルの整備も既に完了している。

問 戦争体験者や被爆者が亡くなり減少する中で、今後平和都市事業をどう進めていくのか。
答 戦争があったという歴史を風化させないためにも、戦争体験者の話や資料などを活用し、過去を学ぶとともに平和への思いを次の世代へ語り継いでいく。



津田 智紀

最低賃金の周知について

問 都の最低賃金額が改正されたので、区報でしっかりと記載してほしい。事業者向けの助成制度についても広く周知してもらいたいが、いかがか。
答 区報にも適切に掲載している。今後もしっかりと周知していく。

就労継続支援施設について

問 民立民営の福祉施設について、工賃の詳細をしっかりと把握することが重要だと考えるがいかがか。
答 工賃の詳細は、事前に行う見学や実習の際に、個別に確認するようお願いしている。引き続き、無理なく安心して働き続けられるよう支援し、地域で自立した生活を送ることができる社会の実現を目指し、取り組んでいく。

東区政策フォーラム（都民ファースト国民民主党所属の会）



清水 ちこ

問 子育てにやさしいまちについて
問 使用済みオムツの回収を公共施設で行うなど、子育て中の家族が外出しやすい社会の実現のために、子ども家庭部としてどのように考えるか。
答 都が推進する赤ちゃん・ふらっと事業において、62の区立施設を登録しており、今後も子育て家庭の外出環境の整備にはハードとソフトの両面からの総合的な取り組みが必要であると考えている。区民ニーズを見極め、子育て家庭が安心かつ快適に外出できる環境づくりに努めていく。



寺田 かずとも

OTAれいわ新選組

問 インクルーシブ教育について
問 区でのインクルーシブ教育をはじめとした多文化共生の理解に関する教育について伺う。
答 様々な背景や価値観を持つ人々が互いに違いを認め合い、ともに助け合い、支え合う社会を築き上げていくことは大変重要なことと考えている。多文化共生について、外国語科、外国語活動、総合的な学習の時間などをはじめとして、他国の文化や人々の生活について理解し、積極的にコミュニケーションをとりながら、課題を解決し、より良い社会を築いていく態度を身につけていく教育を推進していく。



日本維新の会大田区議団



鈴木 ひとし

問 防災について
問 防災アプリなど、発災時の情報伝達は区政に興味を持ってもらうことと併せて、意義ある取り組みであり、区民、児童・生徒の命を守る観点から取り組むことができなにかと考えるが、区の見解はどうか。
答 区が教育委員会や学校と連携して啓発を進めることは、保護者への波及効果につながると認識している。

大田区の中老年の自殺について

問 現状と取り組みについて伺う。
答 区における令和4年の自殺者数は135人で、前年に比べ4人増加した。年齢別の自殺者は40代、50代の中老年層が多い。区はゲートキーパーの養成や、医療機関やJOBOTAとの連携など、適切な支援につないでいる。

議会ライブ中継のご案内

本会議及び予算・決算特別委員会の様子を、デジタルサイネージ（電子看板）などでライブ中継しています。

中継をご覧になれる施設は、次のとおりです。

- 区役所本庁舎1階ロビー
- 大田区民ホール・アプリコ
- 特別出張所（18か所）
- 大田区産業プラザPiO
- 大田区総合体育館

区長挨拶（抜粋）



鈴木 晶雅 区長

● 感染症への対応
行動制限のない日常が戻ったことに伴い、季節性インフルエンザが流行する状況が予想されます。その対策として、季節性インフルエンザワクチンについて、重症化リスクの高い高齢者と小児への費用助成を実施するため、補正予算案に計上させていただいております。新型コロナウイルスワクチン接種については、5年9月20日からオミクロン株XBB対応ワクチンを使用した、5年秋開始接種を実施いたします。

防災、防犯に関する施策

● 防災、防犯に関する施策
5年9月1日、防災の日に関連大震災から100年の節目を迎えました。区内初となる「体感型防災アトラクション」の実施や消防自衛隊と大田区で合同訓練を実施いたしました。災害の記憶を風化させず、そこで得た経験や教訓を忘れることなく、防災力の更なる強化に取り組んでまいります。また、防犯カメラ整備事業補助金の増額補正予算案を提出させていただきました。引き続き、防災・防犯対策を力強く進めてまいります。

新たな基本構想の策定

● 新たな基本構想の策定
5年7月25日に第1回基本構想審議会を開催し、新たな基本構想の方向性について議論し、その後、専門部会を設置して検討を進めて

まいりました。区民の皆様からいただいた数多くの貴重なご意見や、基本構想審議会のご意見を踏まえながら、より魅力的で、多くの方々から選ばれる、大田区の目指すべき将来像を検討してまいります。

新空港線整備とまちづくり

● 新空港線整備とまちづくり
現在、新空港線とともに発展を遂げる沿線のまちの将来像などを取りまとめる、大田区鉄道沿線まちづくり構想の策定に向けた取り組みを進めています。先日、私が議長、副議長をはじめ複数の議員とともに国土交通大臣とお会いした際、鉄道整備とまちづくりに対して国からもご支援いただけたという区の思いを直接お伝えしてまいりました。引き続き新空港線の整備をテコとして、将来にわたって発展し続ける大田区となるよう関係者との調整を進めてまいります。

手話言語の国際デー

● 手話言語の国際デー
9月23日は、手話言語の国際デーです。区では本庁舎内の一部を青色にライトアップし、手話が言語であることを啓発してまいります。同時に、羽田インノベーションシティ街区内のライブホール壁面を青色にライトアップする予定です。2025年には、夏季デフリンピック競技大会東京2025が日本で初めての開催となります。今後も公民連携のもと、手話言語の国際デーにとどまらず、東京2025デフリンピック大会に向けた機運醸成にも取り組んでまいります。

聴覚などに障がいのある方へ

本会議及び委員会では、手話通訳者やFM補聴が利用できます。

● 手話通訳者を希望される方
傍聴希望日の7日前までに問い合わせ先へお申し出ください。

● FM補聴の利用を希望される方
傍聴の際にお申し出ください。



簡単アクセス!

問い合わせ先

議会事務局 FAX5744-1541 電話5744-1474



令和4年度

決算に対する各会派の意見

令和4年度大田区一般会計歳入歳出決算及び国民健康保険事業・後期高齢者医療・介護保険の各特別会計歳入歳出決算について、9月15日の本会議で決算特別委員会（議長及び議員選出監査委員を除く47名で構成）を設置し、9月28日から10月10日までの間で集中的に審査しました。これらの決算に対する各会派の意見は次のとおりです。



決算特別委員会での審査の様子



すがや 郁恵 副委員長 松原 秀典 委員長 大橋 たけし 副委員長

自由民主党大田区議団・無所属の会

賛成

区民の期待に応える持続可能な自治体経営の推進を

令和4年度決算の認定に賛成します。当初予算を一般会計で3,008億円余、前年度比2.4%増として編成し、その後6次にわたり、計158億円余の補正予算を編成し、新型コロナウイルス感染症対策や物価高対策などの区民生活・区内経済を支える取り組みなど、当初予算編成後に生じた状況の変化に速やかに対応し、困難な局面を乗り越えてきました。経常収支比率は、昨年度から2.5ポイント改善し80%となり、3年連続で財政構造の弾力性は改善傾向にあり、コロナ禍の影響がある中、健全かつ強固で弾力的な財政基盤の確立に向けた財政運営を進めてきたことを評価します。

大田区議会公明党

賛成

区民生活・区内経済を守る柔軟・機動的な施策を評価

令和4年度決算の認定に賛成します。4年度は世界情勢の変化に伴う記録的な物価高の中、収入未済額は過去5年で最低、特別区民税は一人当たりの平均所得の増加により最高額となりました。また地方創生臨時交付金を活用し、公明党が提案した、区立小・中学校や保育・介護・障がい福祉サービス事業者への食材費及び燃料費高騰分の補填、子育て世帯への給付金支給などを評価します。住み続けたい、選ばれる大田区となるため、定住・転入促進策、ふるさと納税減収対策につながるシティプロモーション、区内企業の稼ぐ力への支援など、前例にとられない柔軟な発想の区政運営を求めます。

日本共産党大田区議団

反対

コロナ禍と物価高騰の対策が不十分だった決算

本決算には、田園調布水防センター建設、がけ等整備工事助成、重度知的障がい者グループホームの新設、中高生ひろば2所目の新設、少人数学級と児童数増に伴う3小学校の増築、（仮称）特養ホーム大森東の整備補助など、評価できる事業がありました。しかし、財源が足りないとして313項目の事業を削減・縮小し、40億円余の予算を余らせ、コロナ禍や物価高騰で苦しむ区民の暮らしや営業を守る対策が不十分だったことは問題です。また、ポストコロナとしながら新空港線（蒲蒲線）計画推進などの大規模開発を進め、公民連携で民間大企業などの利益優先の区政を進めたことも問題です。

日本維新の会大田区議団

賛成

政治に対する区民の信頼を取り戻す議会改革を

令和4年度決算は、誰一人取り残さない政策をできる限り速やかに実行されたものと理解し、評価します。一方、多くの区民は可処分所得が減り続けており、そこに物価上昇が重なり、厳しい生活を強いられています。私たちは区民に負担を求める前にやるべきことがあると考えます。それは政治家が自らの身分にとらわれず、議員報酬や議員定数の削減、費用弁償の見直しなどを行うことです。政治家自らが身を切る改革を断行することは、これまでの政治・行政・既得権のなれ合い・ぬるま湯・もたれ合いで続けてきた古い政治を壊し、政治に対する区民の信頼を取り戻すことにつながると信じます。

つばさ大田区議団

賛成

コロナ禍の決算を評価、来年度に向けては選択を

令和4年3月、当区議団の前身である令和大田区議団は、4年度一般会計予算に対して、当時は新型コロナウイルス感染症との闘いが続き、限りある経営資源を適所に配分した予算であると理解し、賛成しました。今回の施策成果を確認する限り、それぞれの基本目標に対して着実に前進していることが確認できました。特に蒲田のまちの機能更新と関連し、懸案事項であった新空港線（蒲蒲線）事業に顕著な進捗があったことは、評価いたします。鈴木晶雅新区長には、前区長の良き政策をより伸ばし、議論すべき政策は立ち止まり、お考えいただきながら、選択と集中の実践を期待します。

東京政策フォーラム

(都民ファースト・国民民主・無所属の会)

賛成

選ばれる大田区であるために健全な財政を！

令和4年度の一般会計歳出決算額は、3,041億1,166万円余と、8年前の平成27年度と比べて、1,000億円以上増えています。比率では、福祉費が約55%となり、2年度の決算では、約44%が福祉費だったため、財政に占める割合も、増えていることが分かります。今まで自助、共助とされていたものも、公の支援によって賄われることを望む傾向も、強くなっています。区においては、新たな需要や必要な支出、災害などに対応できる財政の余裕を担保するためにも、歳出の抑制や適正化、情報公開などを進め、引き続き、健全な財政のバランスを保ってほしいと思います。

立憲民主党大田区議団

賛成

コロナ、物価高で傷んだ区民を支える取り組みを求める

令和4年度決算は、財政基金（貯金）を40億円取り崩して実質収支の赤字化を免れましたが、ふるさと納税による特別区民税の流出が42億円あったことを考えると対策は急務です。子ども生活応援基金など、区の課題のために寄附者の思いを集める工夫を求めます。ひきこもり支援室SAPOTA、若者サポートセンター「フラットおおた」などが開設され、生きづらさを抱える区民を支える取り組みが進んだことを評価します。コロナ禍の影響は薄れつつあるものの、資金貸し付けなどで何とかしのぎ、物価高で実質賃金が伸びない区民にとって苦しい時期は続くため、支える取り組みを求めます。

令和4年度
各会計
歳入歳出
決算

| 会計名 | 歳入 | | 歳出 | | 差引額等 |
|--------------|--------------------|---------|--------------------|--------|--|
| | 決算額 | 収入率 | 決算額 | 執行率 | |
| 一般会計 | 3,081億4,238万0,269円 | 96.09% | 3,041億1,166万5,011円 | 94.84% | 40億3,071万5,258円 13億5,029万7,000円（財政基金へ繰り入れ） 26億8,041万8,258円（5年度へ繰り越し） |
| 国民健康保険事業特別会計 | 679億8,499万6,812円 | 98.83% | 670億9,333万4,009円 | 97.53% | 8億9,166万2,803円（5年度へ繰り越し） |
| 後期高齢者医療特別会計 | 190億2,637万3,260円 | 100.35% | 188億5,915万6,002円 | 99.47% | 1億6,721万7,258円（5年度へ繰り越し） |
| 介護保険特別会計 | 585億3,570万7,031円 | 98.12% | 576億7,268万3,793円 | 96.68% | 8億6,302万3,238円（5年度へ繰り越し） |



第3回 定例会で決まった議案など

◎は全会一致(11件) ◆は賛成者多数(24件)

一 区長提出議案

令和4年度歳入歳出決算

一般会計

国民健康保険事業特別会計

後期高齢者医療特別会計

介護保険特別会計

令和5年度補正予算

一般会計(第3次)

11億3,917万1千円減額する(詳細は、1面に記載)。

◎国民健康保険事業特別会計(第1次) 医療給付費分による増など、3億6,118万4千円増額する。

◎後期高齢者医療特別会計(第1次) 繰入金による増など、2億1,718万8千円増額する。

◎介護保険特別会計(第1次) 繰入金による増など、8億7,264万7千円増額する。

条例の一部改正

◆職員勤務時間、休日、休暇等に関する条例 育児又は介護を行う職員の深夜勤務の制限に係る要件に関して、パートナースhip関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとする。

◆職員の育児休業等に関する条例 職員の育児休業等の取得に係る要件に関して、パートナースhip関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとする。

◆職員の給与に関する条例 職員の扶養手当等の支給に関して、パートナースhip関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとするほか、規定を整理する。

◆職員の退職手当に関する条例 職員の退職手当の支給に関して、パートナースhip関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとする。

◆職員の旅費に関する条例

職員の旅費の支給に関して、パートナースhip関係の相手方を配偶者と同等の取扱いとする。

◆大田区手数料料率

旅館業法の改正に伴い、規定を整理する。

◎選挙長等の報酬及び費用弁償に関する条例 更正決定又は繰上補充に係る選挙会を開く場合における選挙長及び選挙立会人の報酬の額を定める。

◆大田区民プラザ条例の施設の供用停止に関する条例 大田区民プラザの供用停止期間を変更する。

◎大田区立障害者福祉施設条例 大森東福祉園の移転のため。

◆大田区プールに関する条例 プールの経営の譲渡があった場合の許可経営者の地位の承継について規定する。

◆大田区興行場に関する条例 興行場法の改正に伴い、興行場営業の譲渡により営業者の地位を承継した者の届出について規定する。

◆大田区旅館業法施行条例 旅館業法の改正に伴い、規定を整理する。

◆建物の処分 大田区北嶺町15番4

◆呑川合流改善貯留施設貯留管設置工事請負契約 契約金額・51億8,782万円 相手方・大成・佐々木・栄伸道

◎大田区立馬込小学校校舎増築及び給食室改修その他工事請負契約

契約金額・4億7,850万円 相手方・醍醐建設株式会社

◆仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他電気設備工事(1期) 請負契約 契約金額・4億8,400万円 相手方・永岡・城南建設工事共同企業体

◎仮称大田区子ども家庭総合支援センター新築その他電気設備工事請負契約 契約金額・3億8,500万円 相手方・永岡・城南建設工事共同企業体

◎仮称大田区子ども家庭総合支援センター新築その他機械設備工事請負契約 契約金額・4億1,250万円 相手方・不二熱学工業株式会社 東京支店

◆仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他機械設備工事(1期) 請負契約 契約金額・4億1,250万円 相手方・日本芸芸株式会社

◎災害対策用毛布の購入 契約金額・2,948万円 相手方・株式会社加美屋

◆大田区立赤松小学校及び仮称大田区北千束二丁目複合施設改築その他工事(1期) 請負契約 契約金額を40億3,575万7千円から42億4,237万9千円に変更する。

◆大田区立馬込小学校校舎増築及び給食室改修その他工事請負契約

訴訟の目的の価額・273万6,000円

(2) 仮分日・令和5年8月15日 訴訟の目的の価額・115万6,000円

(3) 仮分日・令和5年8月15日 訴訟の目的の価額・204万2,000円

(4) 仮分日・令和5年8月15日 訴訟の目的の価額・326万8,000円

●民事訴訟の提起に係る専決処分 建物明渡し等を求める訴えの提起 仮分日・令和5年8月17日 訴訟の目的の価額・0円

●区の義務に属する損害賠償額決定に係る専決処分 (1)ごみ収集作業車による負傷事故 仮分日・令和5年6月27日 賠償金額・75万4,840円

(2) 庁有車による負傷事故 仮分日・令和5年7月28日 賠償金額・99万2,421円

◆工事請負契約の専決処分 呑川合流改善貯留施設立坑設置工事請負契約 仮分日・令和5年7月19日 契約金額を29億661万8,000円から29億8,307万9,000円に、工期を令和6年11月7日から令和7年2月7日に変更する。

●仮称大田区子ども家庭総合支援センター新築その他工事請負契約 仮分日・令和5年7月24日 契約金額を30億9,100万円から31億1,524万4,000円に変更する。

●大田区立大田生活実習所改築その他工事(1期) 請負契約 仮分日・令和5年7月24日 契約金額を12億9,338万円から13億436万9,000円に変更する。

●大田区立石川町文化センター大規模改修工事請負契約 仮分日・令和5年7月24日 契約金額を1億5,840万円から1億6,047万9,000円に変更する。

●大田区立大田生活実習所改築その他電気設備工事(1期) 請負契約 仮分日・令和5年7月26日 契約金額を4億7,300万円から4億7,696万円に変更する。

●大田区立大田生活実習所改築その他機械設備工事(1期) 請負契約 仮分日・令和5年7月26日 契約金額を3億5,200万円から3億5,820万4,000円に変更する。

●旧大田区立野辺山学園取壊し工事請負契約 仮分日・令和5年7月24日 契約金額を4億8,400万円から4億9,948万8,000円に変更する。

一 委員会提出議案

◎固定資産税及び都市計画税の減免措置等の継続を求める意見書 (8面に抜粋を掲載)

一 その他

議員の派遣

◆セーラム市親善訪問調査 派遣期間・令和5年12月9日から12月14日まで 派遣場所・アメリカ合衆国マサチューセッツ州セーラム市、ニューヨーク州ニューヨーク市

◆北京市朝陽区・大連市親善訪問調査 派遣期間・令和5年11月5日から11月9日まで 派遣場所・中華人民共和国北京市朝陽区、大連市

派遣議員・高瀬三徳、鈴木隆之、伊佐治剛、えびさわ圭介、天坂大介、柿島耕平、松原元、おぎの稔、小川あずさ、津田智紀

◆区政施策調査 派遣期間・令和5年11月6日から11月10日まで 派遣場所・ベトナム社会主義共和国ホーチミン市、バリア・ブントウ省ブントウ市・フーミー市、台湾高雄市、台南市

派遣議員・大森昭彦、湯本良太郎、中坪悦子、北村やよい、三沢清太郎、伊藤つばさ

◆ICT化先進議会視察 派遣期間・令和5年10月23日から10月24日まで 派遣場所・岐阜県可児市、滋賀県大津市

派遣議員・しおの目まさき、湯本良太郎、中坪悦子、田島和雄、あまの雄太、村石真依子、鈴木ひろこ、須藤英児、おぎの稔、小川あずさ

◆宮城県東松島市議会親善訪問 派遣場所・宮城県東松島市

(1) 派遣期間・令和5年12月21日から12月22日まで 派遣議員・湯本良太郎、中坪悦子、天坂大介、柿島耕平、岡元由美、あまの雄太、佐藤伸、村石真依子、三沢清太郎、本多たかまさ、鈴木ひろこ、杉山かずのり、宮崎かずま、犬伏秀一、伊藤つばさ、おぎの稔、寺下なおみ、津田智紀、庄嶋孝広、寺田かずとも

(2) 派遣期間・令和5年12月21日 派遣議員・清水ちこ、とく山れいこ



○：賛成 ×：反対 棄権：表決に加わらなかった

| 第3回 定例会 意見が異なった議案に対する各会派の態度一覧 | | 自 | 公 | 共 | 維 | つ | フォ | 立 | フェ | れ | 結果 | | | | | | | | | | | |
|-------------------------------|--|---|---|--|---|---|--|---|----|---|----|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|
| 令和4年度 歳入歳出決算 | 一般会計 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 | | | | | | | | | | | |
| | 国民健康保険事業特別会計 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 | | | | | | | | | | | |
| | 後期高齢者医療特別会計 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 | | | | | | | | | | | |
| | 介護保険特別会計 | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 認定 | | | | | | | | | | | |
| 令和5年度補正予算 | 一般会計（第3次） | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 | |
| 条例の一部改正 | 職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 職員の育児休業等に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 職員の給与に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 職員の退職手当に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 職員の旅費に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区手数料条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区民プラザ条例の施設の供用停止に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区プールに関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区興行場に関する条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 大田区旅館業法施行条例 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 契約の締結 | 呑川合流改善貯留施設貯留管設置工事請負契約 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他電気設備工事（I期）請負契約 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 仮称大田区大森西二丁目複合施設新築その他機械設備工事（I期）請負契約 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 契約の変更 | 大田区立赤松小学校及び仮称大田区北千束二丁目複合施設改築その他工事（I期）請負契約 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 議員提出議案 | 大田区世帯向家賃助成に関する条例 | | | | | | | | | | | × | × | ○ | × | × | × | ○ | × | × | × | 否決 |
| 議員の派遣 | セーラム市親善訪問調査 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 北京市朝陽区・大連市親善訪問調査 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 区政施策調査 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | ICT化先進議会視察 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| | 宮城県東松島市議会親善訪問 | | | | | | | | | | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | 可決 |
| 会派名 (所属議員数) | 自…自由民主党大田区議団・無所属の会 (15) 公…大田区議会公明党 (11) 共…日本共産党大田区議団 (5) | | | 維…日本維新の会大田区議団 (5) つ…つばさ大田区議団 (4) フォ…東京政策フォーラム (都民ファースト・国民民主・無所属の会) (4) | | | 立…立憲民主党大田区議団 (4) フェ…フェアな民主主義 (1) れ…OTAれいわ新選組 (1) | | | | | | | | | | | | | | | |

| 第3回 定例会 委員会付託された請願・陳情の結果 | 今定例会で委員会付託された請願・陳情の結果は以下のとおりです。 | 審査結果 |
|--------------------------|--|------|
| 総務財政 委員会 | 政党機関紙の庁舎内勧誘活動の自粛を求める陳情 | 継続 |
| | 現行の健康保険証の存続を求める陳情 | 不採択 |
| | 健康保険証の存続を求める陳情 | 不採択 |
| | 固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書の提出に関する陳情（ほか同趣旨の陳情2件） | 採択 |
| | 再審法改正の促進を求める意見書を国会・政府に提出することを求める陳情 | 不採択 |
| | 「現行健康保険証廃止撤回を求める国に対する意見書」に関する陳情 | 不採択 |
| | 「現行の健康保険証の存続を求める政府への意見書」の提出を求める陳情 | 不採択 |
| | 国民健康保険料の引き下げなど改善を求める陳情 | 不採択 |
| まちづくり環境 委員会 | ごみ収集車の通行を可能とする私道整備の陳情 | 不採択 |
| | 大田区が所管する区道に対し道路としての管理監督をお願いする陳情 | 継続 |
| | マイボトル用給水スポットを大田区の施設に設置することを求める陳情 | 不採択 |
| こども文教 委員会 | 馬込第三小学校の校舎改築と教育環境の改善を求める請願 | 不採択 |
| | 小中学校のトイレに生理用品の設置を求める陳情 | 不採択 |
| | 大森東中学校による砂埃（砂塵・粉塵）の防止策に関する陳情 | 継続 |
| | 「スピーキングテスト」に関する請願 | 不採択 |
| 羽田空港対策 特別委員会 | 住民の生活実感を反映できるLdenに代わる騒音指標を国に求めてほしいと願う陳情 | 不採択 |
| | 全ての羽田空港運航便で発生した着陸復航情報の公開を求める陳情 | 不採択 |

陳情を採択し、東京都へ
意見書を提出しました

固定資産税及び都市計画 税の減免措置等の継続を 求める意見書（抜粋）

大田区議会は東京都に対し、以下の措置を令和6年度以後も継続することを求めるものである。

- 1 小規模住宅用地に対する都市計画税を2分の1とする軽減措置
- 2 小規模非住宅用地に対する固定資産税及び都市計画税を2割減額する減免措置
- 3 商業地等における固定資産税及び都市計画税について、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置

※本意見書の全文は、ホームページに掲載しています。



各都市から 大田区議会に来訪

セーラム市民訪問団親善訪問
令和5年7月5日 23名
秋田県美郷町議会議員表敬訪問
令和5年7月12日 16名

大田区の姉妹都市であるセーラム市の市民訪問団と、友好都市である秋田県美郷町の議員が、大田区議会を訪れました。



セーラム市民訪問団と大田区議会議員

委員会防災訓練を 実施しました

令和5年7月14日に、委員会防災訓練を実施しました。

訓練の目的は、委員会開会中に大規模地震が発生した際、適切に対応できるようにすることとし、区内最大震度6強の地震が発生した想定で行いました。



委員が命を守る3動作を実施する様子

第4回定例会の予定

| 12月 | 11月 |
|-----|-----|
| 8日 | 29日 |
| 6日 | 30日 |
| 5日 | 1日 |
| 4日 | 30日 |
| 3日 | 29日 |

○ 請願・陳情の締め切り
11月20日(月)

※以上は予定であり、実際の日程は、定例会開催前の議会運営委員会会で決定します。開会時刻など詳細は、ホームページでご覧いただくか、議会事務局までお問い合わせください。